

「いまさら聞けない!？」「でもやっぱり気になる」そんなみなさんのための 基礎から学ぶ「IoT 導入支援セミナーin 金沢」を開催

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、金沢商工会議所（会頭 安宅 建樹）との共催、農林水産省北陸農政局、石川県工業試験場、北陸経済連合会、北陸情報通信協議会の後援、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局の協力により、11月29日、金沢商工会議所「大会議室」（金沢市）において、「『いまさら聞けない!？』『でもやっぱり気になる』そんなみなさんのための基礎から学ぶ『IoT導入支援セミナーin金沢』」を開催し、流通・小売、製造業を中心とした様々な業種の方々約30名が参加しました。

セミナーは、IoTを活用できる人材を育成することを目的とした、総務省の「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」※1の一環として開催し、IoT活用事例として株式会社笑農和代表取締役 下村 豪徳氏から「IoTを活用したスマート水田サービス」を紹介いただき、IoTを導入するメリットを初心者にも分かりやすく解説しました。また、休憩時には、各種センサーから得たデータをRaspberry Pi（ラズベリーパイ）※2で処理する実機のデモ体験を行いました。

参加者からは事例紹介「IoTを活用したスマート水田サービス」に関し「稲が成長して電波が届かなくなり、データがとれなかった失敗談が印象的だった。」等のコメント、更には全体を通じて「AIやビッグデータ解析と関連するのでまとめて知りたい。」、「総務省のIoTに対する取組を理解した。」、「IoTの概要や無線通信について学ぶことができて良かった。農業や製造業でのIoT活用については理解できたがその他の業種での具体例についてもっと詳しく聞いてみたい。」、「今まで漠然としていたイメージだったが、具体的な導入のアイデアがわいたので検討していきたい。」等といったコメントが寄せられました。

事前アンケートでは、「企業でのIoTの導入の予定なし」とする割合が7割強でしたが、セミナーを受講した事後のアンケートでは、9割以上が、講習会への参加によって理解が深まり、「IoTの導入（追加）に前向きになった」と回答がありました。

今後、北陸総合通信局では、管内において農業、ものづくりの中小製造企業等、各分野のユーザー企業でのIoT導入支援に取り組むこととしております。

※1 「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」

今後、多様な分野・業種において膨大な数のIoT機器の利活用が見込まれる中で、多様なユースや若者・スタートアップの電波利用に係るリテラシー向上を図ることが不可欠であることから、IoTユースを対象とした地域毎の講習会や体験型セミナー、若者・スタートアップを対象としたハッカソン等の取組を推進し、IoT時代に必要な人材を育成することを目的とする事業。

※2 イギリスのラズベリーパイ財団が開発した超小型のシングルボードコンピュータ



事例紹介の様子



ワークショップの様子

お問い合わせ先
情報通信部電気通信事業課
076-233-4420